

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内 【JPCSA 通信 Vol.39】

2021年12月14日発行

<JPCSA 最新情報>

- ◆「社員総会・理事会評議会・賛助会員報告会」開催のご報告
- ◆品質評価支援制度
- ◆コロナ禍でみつけたオンラインツアーの新たな可能性とは？
- ◆観光地域づくり法人（登録DMO、候補DMO）の登録申請締切が迫っています！

【新型コロナウイルス対策に関する周知依頼】(R.3.11月19日通知分)

農林水産省より、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の決定について、出勤者数の削減（テレワーク等の推進）について、基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項についてが示されました。

皆様におかれましては、以下の資料をご確認の上、ご周知いただきますようお願い申し上げます。

- ・ [新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の決定について](#)
- ・ [出勤者数の削減（テレワーク等の推進）について](#)
- ・ [基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について](#)

<JPCSA 最新情報>

～ JPCSA News ～

◆「社員総会・理事会評議会・賛助会員報告会」開催のご報告

12月6日(月)に東京都中央区銀座にある『時事通信社ビル』にて社員総会・理事会評議会・賛助会員報告会を開催し、理事及び役付理事の選任、第5期の活動状況の報告等を行いました。

【理事および役付理事の選任について】

今回、これまで会長理事を務めていただいた鳥取県の平井知事が全国知事会会長にご就任され、ご本人より辞任のお申し出がございました。それに伴い、新しく福島県の内堀知事に会長理事としてご就任いただくこととなりました。また、株式会社みずほ銀行顧問であります武藤 浩様は新たに理事としてご就任いただくこととなりました。

理事・監事・顧問・評議員につきましては以下のとおりです。

役職	氏名	所属
会長理事	内堀 雅雄(就任)	福島県知事
理事長	皆川 芳嗣(就任)	株式会社農林中金総合研究所 理事長
代表理事	上山 康博(継続)	株式会社百戦錬磨 代表取締役社長
理事	岡崎 浩巳(継続)	地方公務員共済組合連合会 理事長
理事	清水 清男(継続)	株式会社農協観光 代表取締役社長
理事	青木 貴晴(継続)	一般社団法人全国農協観光協会 代表理事専務
理事	境 克彦(継続)	株式会社時事通信社 代表取締役社長

理事	武藤 浩(就任)	株式会社みずほ銀行 顧問
監事	掘 光良(継続)	株式会社クレセント 取締役
顧問	久保田 穰(継続)	日本観光振興協会 理事長
顧問	清野 智(継続)	日本観光振興局 理事長
評議員	青木 辰司(継続)	東洋大学 名誉教授
評議員	本田 俊介(継続)	日本航空株式会社 執行役員
評議員	佐々木 宣幸(継続)	株式会社テレビ東京コミュニケーションズ 代表取締役社長
評議員	脇岡 弘典(継続)	全国農業協同組合中央会 常務理事



理事会・評議会の様子



内堀雅雄 新会長理事



皆川理事長

上山代表理事

新会長理事 内堀知事から会員の皆様へのご挨拶につきましては、新年号（1月号）とさせていただきます。

【第5期 活動状況報告について】

課題解決支援

<p>専門家派遣</p>	<p>農泊実践に向けた研修プログラムリスト、および専門家派遣リストを作成し、以下の農泊セミナー、研修会を実施した。</p> <p>(1) 山梨県農泊セミナー 上山代表理事登壇による、農泊の概念、地域資源の掘り起こし、農泊推進に必要なマーケティングをテーマとしたセミナーを開催</p> <p>(2) 岩手県グリーン・ツーリズムカレッジ 安全管理研修会 コロナ禍における安全管理研修と題し、当会 金子事務局員が講師として登壇。</p>
<p>広報機能強化</p>	<p>(1)ホームページ運用、更新 (2)正会員向けメールマガジンの定期および臨時配信更新 (令和3年度定期8本、臨時1本、通算9本) (3)「農泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（第4版）」発行</p>

品質評価支援制度（※後述）

評価員の育成	地域における品質評価支援を実施するため品質評価支援を担う人材「農泊品質評価員」の育成を行う研修を実施した。
	○日程：12/2（木）～12/3（金）
	○対象：JAL 客室乗務員 20 名
	○講師：上山代表理事、青木評議員、大野事務局長、サクラクオリティ北村様
	○事業事務局：全国農協観光協会

※品質評価支援制度について

国際基準を踏まえた、日本独自の「農泊品質評価支援制度」により、“格付け”や“選別”ではなく品質の底上げをめざし、個々の実践者や各種施設だけでなく**農泊地域全体の品質向上を支援する制度**です。「客観的基準」に基づく「品質」を「評価」し「認証」することにより、利用者に「安心・安全」を提供することを目指しています。

ワーキンググループ

政策提言ワーキング	持続的な農泊推進に向けて、政府への政策提言テーマを議論
損保共済ワーキング	令和4年度販売開始に向けて、新たな農泊損保商品の試案を作成し、年度末までに商品確定を図る方向性を確認
アフターコロナ対策ワーキング(新)	アフターコロナにおける新たな農泊需要の考究・提言

◆農泊地域の品質向上を支援する人材を育成する研修を実施しました。

本会は、今年度より、農泊地域において農泊を実践している各種施設の品質向上に向けた多面的支援をする「農泊品質評価支援制度」事業を開始いたしました。

「第1回農泊品質評価支援育成研修」と銘打った本研修は、品質評価支援を担う人材（農泊評価員）の育成を行うことを目的として、本会賛助会員である日本航空株式会社様の客室乗務員 20 名を対象に、農泊を実践されている熊本県人吉球磨地域において、1泊2日のスケジュールのもと、専門家による座学研修、地域内宿泊施設等の実地研修、および評価員検定考査を実施いたしました。

今年度は、来年2月頃に第2回を実施する予定であり、品質評価支援を担う人材を引き続き育成していくとともに、農泊地域における品質向上に向けた多面的支援を順次受け付けて農泊品質評価支援を実施してまいります。

なお、この農泊品質評価支援制度にご興味やご関心がございましたら、本会メール（info@jpcsa.org）にてお問い合わせください。

【1日目 12月2日（木）】



座学による研修



夕食は地元ひまわり亭で実地研修を兼ねて巻き寿司体験と郷土料理を

【2日目 12月3日（金）】



有識者によるパネルトーク



実地研修発表

< 農泊関連情報 >

～ Countryside Stay News ～

◆コロナ禍でみつけたオンラインツアーの新たな可能性とは？

JNTOロサンゼルス事務所ではアメリカの富裕層を取り扱う旅行会社を対象に、オンラインツアーやオンラインファムトリップを実施しました。今回は、その取り組みについてご紹介しますので、ぜひご活用下さい！！

ツアーでは、ZOOMを活用し、各地の名所や体験、宿泊施設をライブでつなぎ、地域に精通したプロのガイドや施設の担当者がリアルな情報を生配信し各地の魅力を紹介しています。

実施済みのオンラインツアーの様子を見ることがもできますのでぜひご覧ください。

日本政府観光局（JNTO）のHPは[こちら](#)

◆観光地域づくり法人（登録DMO、候補DMO）の登録申請締切が迫っています！

観光庁では令和3年度2回目の観光地域づくり法人（登録DMO 第12弾、候補DMO 第22弾）の登録申請を受け付けています。

なお、登録に必要な申請書類の提出期限は**令和4年1月21日（金）**になっています。詳しくは観光庁HPよりご確認下さい！！

観光庁HPは[こちら](#)

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

ご購入いただいた皆様の事業展開のきっかけとような情報発信を行ってまいりますので、
今後もご愛読のほど宜しくお願い申し上げます。

会員様が実施されます農泊関連イベントや研修について、こちらのメールマガジン上で告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記 E-mail へご連絡をお願い致します。受信後、当会担当者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL : 03-3526-2493 / FAX : 03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら : <https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail : info@jpcsa.org
